



広 崎

天満宮

広崎公園から南へ200m、秋津川の手前に天満宮があります。道路から鳥居が見え、その奥に1坪ほどの堂宇があります。石井川組の守護神で、地域の人から「天神さん」と呼ばれています。『肥後國誌』には「広崎の天神社」と記されています。



神殿の中には菅原道真公の木像が祀られています。境内には梅の古木と五輪塔の水輪が残されており、境内の一部は周辺民家の庭にも残されているといわれています。道真公は学問の神様として受験生に人気があることから、広崎でも学問の神様として、また字が上達するようお参りされていました。

熊本地方に天神が多く祀られていたのは、御霊信仰(崇りを鎮める信仰)といわれており、農民の意識の中に崇りの信仰が強くあったことを示しています。延喜3(903)年、道真公が亡くなってから天下に凶変が多くあり、崇りであると大宰府に天満宮を建て祀りました。それでも変災は止むことはなく、延長6(928)年、元の官職に復して村ごとに祀るようにさせました。天神さんが祀られている場所は、落雷や火災がなく、広崎においても石井川組には一度も火災が起きたことはないとの言い伝えがあります。

天神さんの祭礼は、道真公の命日である12月25日に行われます。昔は座が東組、西組に分かれて交互に座元の家を回っていましたが、現在は14軒の氏子が順番に座元になり、1年間は受け前の人の家で名札を管理し、毎月1日と15日に清掃や榊の取り替えなどを行っています。

12月23日は昼から氏子全員が座元の家集まり、しめ縄や飾り付けの準備を行います。夕方までには準備を済ませ、座の席を設けて過ごします。その後、天神さんの受け渡しを行います。受け渡された座元は絶対に神様を床に置いてはいけないという決まりがあり、神様を座元の家まで送って1年間のご加護を祈願して帰ります。

25日は、朝から境内で枯枝を燃やしながらかん酒や小豆飯を持ち寄ってお供えし、祭りが終わると供物をおろして直会なおらいをします。

参考文献 『郷土史広崎』広崎老人クラブ・木本寅喜 編

BABY

わが家の天使 こんにちは赤ちゃん



のだ ひろと
野田 裕斗 くん

(惣領2町内)

ごはん大好き♡遊ぶの大好き♡元気いっぱい大きくなるぞー!!

パパ 裕志さん ママ 唯さん



いしかわ はんな
石川 蓮菜 ちゃん

(馬水南)

4月で1歳になります。年長さんのお姉ちゃんとたくさん仲良く遊んでね。大きく育ってね!

パパ 貴培さん ママ 亜由美さん

MAIL

ご意見・ご感想 の紹介コーナー



春ですね。私の職場にも新しい仲間が増え、新人研修や懇親会と大忙しです。新人さんの初々しいこと。若いパワーをもらい、また今年もガンパローとってます。 P.N ムーミン



「わが家の天使」を見て、どの子も可愛いなと思い、ほほえましく思います。でも、今時なのか、ふりがながないと読めない名前の子が多くなりましたね。わが家の孫も、ふりがながないとたぶん読めないと思います。和生あおい、女の子です。ばあちゃんの一文字を使って命名してくれたお宝孫です。 P.N あおいのばあちゃん



入学の息子と通学の練習に、歩いて学校へ行ってみました。予想以上に遠く、何度も「休けいしたい」の連呼でした。狭い通学路、車の通りも多いのでドライバーの方がたも、いつも以上の安全運転おねがいします! みいくん、がんばれ♡ P.N ののママ